

調査計画

1 調査の名称（特定一般統計調査 その他の一般統計調査）

実験動物取扱いの実態に関する調査

2 調査の目的

本調査は、実験動物の適正な取扱いの推進に向けた検討を行う際の基礎資料を得るため、全国の実験動物を飼養又は保管する施設（以下「実験動物取扱施設」という。）における実験動物の飼養・保管状況及び苦痛の軽減への対応状況等に関する実態を統一かつ網羅的に把握することを目的とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲（全国 その他）

(2) 属性的範囲（個人 世帯 事業所 企業・法人・団体 地方公共団体 その他）

「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（平成18年環境省告示第88号）が適用される実験動物取扱施設

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

(1) 報告者数

約1,500施設

(2) 報告者の選定方法（全数 無作為抽出（全数階層あり） 有意抽出）

環境省、文部科学省、厚生労働省及び農林水産省が所管する学校、試験研究機関等の実験動物取扱施設及び令和4年12月に各府省庁及び都道府県・政令指定都市・中核市から収集した実験動物取扱施設に係る情報を母集団情報として、その全数を報告者とする。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項（詳細は調査事項一覧を参照）

- ・回答者の属性
- ・実験動物の飼養保管状況*
- ・実験動物取扱いに関する内部規程の策定状況
- ・動物実験等に関する自己点検・評価の実施状況
- ・動物実験等における3Rの考慮状況

・動物実験等の実施実績及び殺処分実績*

・動物実験等に関する情報公開状況 等

[集計しない事項の有無] 無 有

・回答者の所属機関名については、回答状況の確認の際に用いるものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

令和5年10月1日現在。ただし、「*」を付した事項については、令和4年度1年間の実績

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

・配布

①環境省－民間事業者－報告者（②～⑥以外の実験動物取扱施設）

②環境省－都道府県・政令指定都市・中核市－報告者（都道府県・政令指定都市・中核市が所管する実験動物取扱施設）

③環境省－報告者（環境省が所管する実験動物取扱施設）

④文部科学省－報告者（文部科学省が所管する実験動物取扱施設）

⑤厚生労働省－報告者（厚生労働省が所管する実験動物取扱施設）

⑥農林水産省－報告者（農林水産省が所管する実験動物取扱施設）

・回収

報告者－民間事業者－環境省

(2) 調査方法

郵送調査 オンライン調査（政府統計共同利用システム 独自のシステム 電子メール） 調査員調査 その他（ ）

[調査方法の概要]

・環境省から調査事務を受託した民間事業者が開設するWEBアンケート回答画面のURLを、関係4省がそれぞれ所管する報告者に電子メールにより送付するほか、環境省が民間事業者又は都道府県・政令指定都市・中核市を介して、その他の報告者に電子メールにより送付する。報告者は、WEBアンケート回答画面にアクセスする方法で回答を行う。

・民間事業者は、調査票の取集に併せて、督促及び疑義照会も行う。

・回答時、報告者ごとに再開用URLを発行する。報告者が回答を一時保存した場合、再開する際は当該URLからアクセスすることにより、他者の回答画面に誤ってアクセスする事態等は防止される。また、報告者に回答済み調査票等のファイルを送信する必要がある際はパスワードを設定し、複数者へ連絡する際はBCCに設定して送付する等、誤送信防止に取り組む。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

1回限り 毎月 四半期 1年 2年 3年 5年 不定期 その他 ()

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：)年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

令和5年10月下旬～11月下旬

8 集計事項

第1表 回答者の業界別分布

第2表 令和4年度中の動物実験等実施・外注状況

第3表 令和4年度中の動物実験等における実験動物の使用目的

第4表 令和4年度中の飼養等動物種及び飼養頭数

第5表 機関内規程の策定状況及び根拠指針

第6表 機関内規程で定めている項目

第7表 実験動物の飼養者分類

第8表 実験動物の飼養保管環境のエンリッチメント等実施状況

第9表 自己点検・評価実施状況及びその内容

第10表 外部検証実施状況

第11表 3Rs取組状況

第12表 令和4年度中の実験動物殺処分実績

第13表 動物実験等に関する公開情報及び公表方法

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表・非公表の別 (全部公表 一部非公表 全部非公表)

(2) 公表の方法 (e-Stat インターネット (e-Stat以外) 印刷物 閲覧)

(3) 公表の期日

令和6年11月下旬

10 使用する統計基準等

使用する→ 日本標準産業分類 日本標準職業分類 その他

()

使用しない

本調査は、国内の実験動物取扱施設を対象を限定した調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に、統計基準を用いる余地が小さいことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 保存期間 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：永年

(2) 保存責任者 環境省自然環境局総務課長

実験動物取扱いの実態に関する調査 調査事項一覧

- Q1** 御回答者様の所属機関（実験動物取扱施設）の名称を教えてください。
※本回答はいかなる形でも公表しません。
自由記述（必須）
- Q2** 御回答者様（本アンケートの御担当者様）の氏名と御連絡先（電話番号、メールアドレス）を教えてください。
※本回答はいかなる形でも公表しません。ただし、調査実施主体（環境省）より、個別に回答内容の詳細等をお伺いする可能性がございます。
自由記述（必須）
- Q3** 御回答者様の所属機関の属する業界（または加盟団体）を教えてください。
複数に当てはまる場合は主たる業界として該当するものを御回答ください（1つのみ）。
1. 学術研究機関（大学法人系）
 2. 公的研究機関（国立・地方公共団体系）
 3. その他研究機関（研究開発法人）
 4. 医薬品関係（動物用も含む）
 5. 医療機器関係
 6. 化粧品（医薬部外品を含む）・日用品関係
 7. 食品・食品添加物関係
 8. 動物生産関係
 9. 受託機関（動物実験、検査分析、流通販売等）
 10. その他（必須：自由記述）
- Q4** 令和4年度中（令和4年4月～令和5年3月）に、動物（哺乳類、鳥類及び爬虫類を対象とする。）を用いた実験等を行っていますか。または、実験等の外部発注（委託等）を行っていますか。（1つのみ）
1. 自らの施設で動物実験等（生産・繁殖を含む）を実施している
 2. 外部発注（国内）にて動物実験等を実施している
▶（Q6以降は回答不要となります）
 3. 外部発注（国外）にて動物実験等を実施している
▶（Q6以降は回答不要となります）
 4. 外部発注（国内及び国外）にて動物実験等を実施している
▶（Q6以降は回答不要となります）
 5. 自らの施設・外部発注ともに動物実験を実施している
 6. 動物の販売・輸送等の専門機関であり動物実験等は実施しない
▶（以降の設問は6,8,9,10,12のみ御回答いただきます）
 7. 令和4年度中には動物実験等を実施しなかったが、将来的には実施する可能性がある
▶（アンケートはここで終了します）
 8. 動物実験施設を有しているが、動物実験等を実施していない
▶（アンケートはここで終了します）
 9. 動物実験施設を有しておらず、動物実験等を実施していない
▶（アンケートはここで終了します）
 10. その他（任意：自由記述）

Q5-1 動物実験を行っている理由を教えてください。(複数選択可)

1. 法令(条例含む)で要求されているから(任意:根拠法令名)
2. 任意(開発・安全性確認のため、法令で要求されているか分からない場合も含む)

Q5-2 令和4年度中に実施した動物実験における実験動物の使用目的について、教えてください。(当てはまるもの全て)

1. 人間のための医薬品・医療機器・医療技術の開発や安全性評価
2. 動物のための医薬品・医療機器・医療技術の開発や安全性評価
3. 食品の機能・効用・安全性を確認する
4. 化粧品等の日常生活品の機能・効能・安全性を確認する
5. 産業等に用いられる化学物質の機能・効能・安全性を確認する
6. 生物の身体の基本的な機能を科学的に調べる
7. 動物を継続的に飼育して行動や心理を調べる
8. 畜産動物の品種改良・繁殖
9. 実験動物の作製・繁殖・品質管理
10. 大学等での動物を用いた教育、実習、研究や手術の実技訓練
11. 事件や訴訟に際しての加害行動の危険性を確認する
12. その他(必須:自由記述)
13. 回答できない(任意:その理由)

Q6 令和4年度に、実験等のために入手・生産・飼養等をした動物の種類を教えてください。(当てはまるもの全て)

1. マウス
2. ラット
3. ハムスター類
4. スナネズミ
5. フェレット
6. モルモット
7. ウサギ
8. サル類
9. イヌ
10. ネコ
11. ウマ
12. ウシ
13. ブタ
14. ヒツジ
15. ヤギ
16. その他哺乳類
17. ニワトリ
18. ウズラ
19. その他鳥類
20. 爬虫類
21. その他の哺乳類、鳥類、爬虫類(任意:自由記述)
22. 回答できない(任意:その理由)

Q7 令和4年度における、実験等のための年間総飼養頭数若しくは年間最大飼養頭数の両方あるいは可能な一方を動物種毎に教えてください。

※年間総飼養頭数とは、実験に使用した又は出荷した頭数と、系統を維持した頭数の合計のこと。

※年間最大飼養頭数とは、年間で一番飼養頭数が多い一日の飼養頭数のこと。

※Q6の動物種ごとに下記数値のプルダウン選択で回答する

- ① 1～50
- ② 51～100
- ③ 101～500
- ④ 501～1,000
- ⑤ 1,001～5,000
- ⑥ 5,001～10,000
- ⑦ 10,001～
- ⑧ 把握していない
- ⑨ 回答できない（任意：その理由）

※動物種ごとに上記の回答数がどちらの数値なのかプルダウン選択で回答する

- ① 年間総飼養頭数
- ② 年間最大飼養頭数

Q8 実験動物の飼養保管及び動物実験等に関する規程（以下、「機関内規程」とする）を定めているかを教えてください。大学等の研究機関の場合、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（平成18年文部科学省告示第71号）及び「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（平成18年環境省告示第88号）等を踏まえて策定する「機関内規程」（全学若しくは部局・学部毎の規程）を指すと解釈してください。また、機関内規程に準じる内規等も含めてください。

- 1. 定めている
- 2. 定めているが、一部に不十分な点があるため改正を予定している
 - ▶ 改正予定（「令和5年度末迄」「令和6年度末迄」「令和7年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）
- 3. 策定を予定している
 - ▶ 策定予定（「令和5年度末迄」「令和6年度末迄」「令和7年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）
- 4. 機関内規程としては定めていないが、近似するもの（手順書やマニュアル等）がある
- 5. 機関内規程は定めておらず、今後定める予定はない
- 6. 上記いずれにも該当しない（必須：自由記述）

Q9 ※前問（Q8）で1,2,4を回答した人を対象
定めている機関内規程（或いは近似するもの）の根拠指針として該当するものを教えてください。（当てはまるもの全て）。

- 1. 研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省）
- 2. 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針
- 3. 農林水産省の所管する研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針
- 4. 実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（環境省）
- 5. 動物実験の適正な実施に向けたガイドライン（日本学術会議）
- 6. その他（任意：自由記述）

Q10 ※Q8で1,2,4を回答した人を対象
機関内規程（若しくは規程内の条項）或いはこれに近似するものにおいて、以下のうち定めているものを教えてください。
参考：

「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」

(URL: https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/06060904.htm)

「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」

(URL: <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/honbun.pdf>)

「農林水産省の所管する研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」

(URL: https://www.affrc.maff.go.jp/doubutsujikken/attach/pdf/doubutsujikken_kihonshishin-5.pdf)

「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（平成 18 年環境省告示第 88 号）に規定されている事項

(URL : http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/laws/nt_h25_84.pdf)

・各種規程と策定状況のマトリクス形式（当てはまるもの全て）

【各種項目】

1. 実施機関の長の責務に関する項目
2. 動物実験責任者の責務に関する項目
3. 実験動物管理者の責務に関する項目
4. 動物実験委員会の設置に関する項目
5. 動物実験の計画の審査、承認、却下に関する項目
6. 動物実験の結果の把握、改善措置に関する項目
7. 自己点検・評価に関する項目
8. 情報公開に関する項目
9. 外部の機関等による検証あるいは認証に関する項目
10. 代替法の活用、使用数の削減、苦痛の軽減（3Rs）に関する項目
11. 実験動物の処分の方針、手段等に関する項目
12. 実験実施者等に対する教育訓練に関する項目
13. 実験動物が逸走した場合の措置に関する項目
14. 地震、火災等の災害の発生時にとるべき措置に関する項目
15. 人と動物の共通感染症の発生時にとるべき措置に関する項目
16. 有毒な実験動物、または人に危害を加えるなどのおそれがある実験動物による危害等の防止に関する項目
17. 実験動物の飼養・保管の方法に関する項目（給餌・給水、その他健康管理のための方針等）
18. 実験動物の飼養・保管状況の記録管理（入手先、飼育履歴、病歴等）に関する項目
19. 実験動物を飼養・保管する設備の構造に関する項目
20. 施設及び施設周辺の生活環境の保全に関する項目
21. 実験動物の輸送を行う場合の項目

【策定状況】

1. 規程で定めている
2. 規程の策定を予定している
 - ▶ 「令和 5 年度末迄」「令和 6 年度末迄」「令和 7 年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択
3. 規程はないが手順書やマニュアル等で運用している（規程の策定の予定はない）
4. 規程、手順書、マニュアル等はない

Q11 貴機関において実験動物の飼養者として該当するものを教えてください。（当てはまるもの全て）

常勤、非常勤、派遣職員等の別は問いません。

1. 獣医師
- 2.1. のうち実験動物医学専門医（日本実験動物医学専門医協会による認定）
3. 愛玩動物看護師
4. 実験動物技術者資格（日本実験動物協会）の保持者
5. 実験動物管理者等研修会（日本実験動物学会）の修了者
6. 実験動物関係教職員高度技術研修（国立大学法人動物実験施設協議会）の修了者
7. 実験動物管理者の教育訓練（公私立大学実験動物施設協議会）の修了者
8. その他専門技師（具体的な講習名等を自由記述）
9. 動物実験実施者（研究・開発・評価・訓練等に直接携わる者）
10. 全て該当なし

- Q12** 貴機関における実験動物の飼養保管環境のエンリッチメント等について、下記項目それぞれの実施状況を教えてください。
*エンリッチメントとは、普段生活しているときの環境をその動物種の習性等に配慮した方法でできるだけ快適に過ごさせる配慮のことである。

【実施項目】

1. 湿度と温度の管理
2. 空気（臭気等）の管理や換気
3. 光や照明の管理
4. 騒音と振動の管理
5. ケージあたり頭数の管理
6. 遊びの時間など運動活動や社会的接触の実施
7. ペア・グループハウジングや相性の悪い個体や種類毎の分離
8. 嗜好性の高い主食・副食の給餌
9. 精製された飲用水の使用や給水装置の衛生管理
10. 床敷や床材の管理
11. 構造物や巣材の提供
12. ケージや機器の衛生管理
13. 排泄物や汚物の管理
14. 害虫等の対策

【実施状況】

1. すべての動物で実施している
2. 半分以上の動物で実施している
3. 半分に満たないが一部の動物で実施している
4. どの動物でも実施していない

- Q13** 環境省実験動物基準及び本基準に即した各指針（Q10 参照）の遵守状況にかかる自己点検・評価を実施しているかを教えてください。（1つのみ）。

1. 実施している
▶ 直近の実施日（○年○月○日）
2. 実施を予定している
▶ 実施予定（「令和 5 年度末迄」「令和 6 年度末迄」「令和 7 年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれか選択）
3. 実施の予定はない

- Q14** ※前問（Q13）で 1 を回答した人を対象
自己点検・評価をどのように実施していますか。（1つのみ）。

1. 動物実験委員会若しくはこれに準ずる体制で実施している
2. 1. とは別に、自己点検・評価のための委員会・体制を立ち上げて実施している
3. 委員会等の体制は設置せず実施している
4. その他（必須；自由記述）

- Q15** ※Q13 で 1 を回答した人を対象
自己点検・評価を実施するメンバーについて該当するものをお答えください。（当てはまるもの全て）。

1. 動物実験等に関して優れた識見を有する者
2. 実験動物に関して優れた識見を有する者
3. その他（必須：自由記述）

Q16 第三者（外部）による検証（認証）を実施しているかを教えてください。
第三者とは、機関内の実験実施者以外の人物ではなく、貴機関外の人物のことを指します。（1つのみ）。

1. 実施している
 - ▶ 直近の実施日（○年○月○日）
 - ▶ 実施機関名（任意・自由記述）
2. 実施を予定している
 - ▶ 実施予定（「令和5年度末迄」「令和6年度末迄」「令和7年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）
3. 実施の予定はない

Q17 実験等の3Rsのうち「代替法の利用(Replacement)」についてお聞きします。貴機関の動物実験計画書等において、代替法検討結果の記載欄はありますか。（1つのみ）

1. ある
 - ▶ Replacementに関する具体的な工夫や成果（任意：自由記述）
2. ない
3. 記載を予定している
 - ▶ 記載予定（「令和5年度末迄」「令和6年度末迄」「令和7年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）
4. そもそも動物実験計画書等がない

Q18 貴機関の動物実験従事者（実験動物管理者、実験実施者、飼養者を含む）の教育訓練において、Replacementについての内容は含まれていますか。

1. 含まれている
 - ▶ Replacementの教育訓練における具体的な工夫や成果（任意：自由記述）
2. 含むことを予定している
 - ▶ 実施予定（「令和5年度末迄」「令和6年度末迄」「令和7年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）
3. 含まれていない
4. そもそも教育訓練を実施していない

Q19 実験等の3Rsのうち「使用動物数の削減(Reduction)」についてお聞きします。貴機関の動物実験計画書等において、使用動物数の積算根拠等を説明する欄はありますか。（1つのみ）

1. ある
 - ▶ Reductionに関する具体的な工夫や成果（任意：自由記述）
2. ない
3. 記載を予定している
 - ▶ 記載予定（「令和5年度末迄」「令和6年度末迄」「令和7年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）
4. そもそも動物実験計画書等がない

Q20 貴機関の動物実験従事者（実験動物管理者、実験実施者、飼養者を含む）の教育訓練において、Reductionについての内容は含まれていますか。（1つのみ）

1. 含まれている
 - ▶ Reductionの教育訓練における具体的な工夫や成果（任意：自由記述）

2. 含むことを予定している

▶実施予定（「令和 5 年度末迄」「令和 6 年度末迄」「令和 7 年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）

3. 含まれていない

4. そもそも教育訓練を実施していない

Q21 実験等の 3Rs のうち「苦痛の軽減（Refinement）」についてお聞きします。貴機関の動物実験計画書等において、実験処置の苦痛度評価、苦痛の軽減方法（麻酔、鎮痛、人道的エンドポイント）に関する記載欄はありますか。（1つのみ）

1. 全て（麻酔、鎮痛、人道的エンドポイント）記載欄がある

▶Refinement に関する具体的な工夫や成果（任意：自由記述）

2. あるが、麻酔、鎮痛、人道的エンドポイントのうち一部が不十分である

▶記載がある部分（麻酔・鎮痛・人道的エンドポイント）

3. ない

4. 記載を予定している

▶記載予定（「令和 5 年度末迄」「令和 6 年度末迄」「令和 7 年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）

5. そもそも動物実験計画書等がない

Q22 貴機関の動物実験従事者（実験動物管理者、実験実施者、飼養者を含む）の教育訓練において、Refinement についての内容は含まれていますか。（1つのみ）

1. 含まれている

▶Refinement の教育訓練における具体的な工夫や成果（任意・自由記述）

2. 含むことを予定している

▶実施予定（「令和 5 年度末迄」「令和 6 年度末迄」「令和 7 年度末迄」「その他（内容（任意））」「不明・未定」のいずれかを選択）

3. 含まれていない

4. そもそも教育訓練を実施していない

Q 23 令和 4 年度に実験等のために入手・生産・飼養等をした動物において、殺処分頭数と方法について動物種毎に教えてください。

殺処分の定義：実験等を終了し、若しくは中断した実験動物又は疾病等により回復の見込みのない障害を受けた実験動物の事後処理として実施するもの。安楽死、致死処分など名称を問わずに含みます。ただし、実験過程での意図せぬ死亡（突然死等）は含みません。

※Q6 での選択済動物種毎に殺処分頭数&方法（複数回答可）を回答する

【殺処分頭数】

① 1～50

② 51～100

③ 101～500

④ 501～1,000

⑤ 1,001～5,000

⑥ 5,001～10,000

⑦ 10,001～

⑧ 把握していない

⑨ 回答できない（任意：その理由）

【殺処分方法】

1. 炭酸ガス
2. 麻酔薬の過量投与
3. 深麻酔下における塩化カリウムまたは硫酸マグネシウムの過量投与
4. 頸椎脱臼
5. 断頭
6. 深麻酔下における放血
7. その他（任意：自由記述）
8. 把握していない
9. 回答できない（任意：その理由）

Q24 公表している動物実験等に関する具体的な情報について該当するものすべてに○を付けてください。（当てはまるもの全て）

1. 機関内規程
2. 自己点検および自己評価結果
3. 外部検証結果
4. 動物種
5. 飼育匹数
6. 施設の情報（主要な飼養保管施設の名称等）
7. 動物実験計画書の年間承認件数
8. 教育訓練の実績（実施日、実施内容概略、参加者数等）
9. 動物実験委員会の委員の構成（役職、専門、資格等）
10. その他（任意：自由記述）
11. いずれも公表していない

Q25 ※前問（Q24）で 1-10 を回答した人を対象

動物実験等に関する具体的な情報の公表の方法について該当するものをお答えください。（当てはまるもの全て）

1. ホームページ
2. 年報
3. その他（任意：自由記述）

Q26 最後に、実験動物の適正な飼養及び保管並びに苦痛の軽減等の推進に関して、環境省に御意見等がございましたら御記入ください。

自由記述（任意）